

平成14年度

種苗特性分類調査報告書

コレオプシス
(改訂版)

1 対象植物の範囲

- (1) キク科 (Compositae) のコレオプシス属 (*Coreopsis* L.) は、現在100種以上の種が知られているが、グランディフロラ種 (*C. grandiflora* T.Hogg ex Sweet) のように株元から多数の根生葉が発生し開花時には花茎が伸長し、その頂部に開花するタイプとウェルティキラタ種 (*C. verticillata* L.) ロセア (*C. rosea* Nutt.) 及びロセア×ティンクトリア (*C. tinctoria* Nutt.) のように主茎が伸び側枝が発生して株全体に着花するタイプに大別できる。葉の形質についてタイプごとに分けて調査することとし、本基準案はコレオプシス属を対象とするが調査対象種以外の出願があった場合には前もって十分検討する必要がある。
- (2) 基準作成時に対象植物に含まれることが判明した種は以下のとおりである。
- | | |
|---------------------------------------|----------|
| <i>C. drummondii</i> Torr. et A. Gray | キンケイギク |
| <i>C. grandiflora</i> T.Hogg ex Sweet | グランディフロラ |
| <i>C. lanceolata</i> L. | オオキンケイギク |

3 特性審査基準(案)

(1) 特性審査基準(案)

重要な形質	No.	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
草丈	1	草丈	最長花茎の第一花開花時の地際から植物体最高部までの高さ	測定 (cm)	低	3		20~25
					中	5		
					高	7		
茎の太さ	2	茎の太さ	最長花茎の第一花開花時の茎中央部の長径	測定 (mm)	細	3		3~4
					中	5		
					太	7		
茎の色	3	茎の緑色程度	花茎中央部の地色の緑色程度	観察	淡	3	バーデンゴールド	
					中	5		
茎の毛の多少	5	茎の毛の有無	花茎中央部の毛の有無	観察	無	1	バーデンゴールド	
					有	9		
節間長	6	節間長	花茎中央部の節間長(茎の太さを測定した節)	測定 (mm) 図-1	短	3	アーリーサンライズ バーデンゴールド	20~35 50~70 100~140
					中	5		
					長	7		
葉序	7	葉序	花茎の下から2/3の部位の葉序	観察	互生	1		
					対生	2		
					輪生	3		
葉形	8	根出葉の有無	根出葉の有無	観察	無	1	ムーンビーム バーデンゴールド	
					有	9		
	9	根出葉の羽状複葉の有無	株の基部から発生した成葉の羽状複葉の有無	観察	無	1		
					有	9		
	10	根出葉の羽状複葉の型	株の基部から発生した羽状複葉の型	観察	1回羽状複葉	1		
					2回羽状複葉	2		
	11	根出葉の単葉の形	株の基部から発生した単葉の形(羽状複葉の品種も単葉があれば単葉を調査する。)	観察 図-2	線形	1		
					披針形	2		
					狭楕円形	3		
					楕円形	4		
12	根出葉の葉長	最大の単葉の長さ(羽状複葉の品種も単葉があれば単葉を調査する。)	測定 (cm) 図-3	短	3	アーリーサンライズ	10~15 20~25 30~35	
				中	5			
				長	7			
13	根出葉の葉幅	最大の単葉の幅(羽状複葉の品種も単葉があれば単葉を調査する。)	測定 (cm) 図-3	狭	3	アーリーサンライズ	1.5~2.0 2.5~3.0 3.5~4.0	
				中	5			
				広	7			
14	茎葉の羽状複葉の有無	茎中間部の葉の羽状複葉の有無	観察	無	1	ムーンビーム		
				有	9			
15	茎葉の羽状複葉の型	茎中間部の羽状複葉の型	観察	1回羽状複葉	1			
				2回羽状複葉	2			
16	茎葉の単葉の形	茎中間部の単葉の形	観察 図-3	線形	1			
				披針形	2			
				狭楕円形	3			
				楕円形	4			
17	茎葉の羽状複葉の長さ	茎中間部の羽状複葉の長さ	測定 (cm)	短	3	ムーンビーム ブルスイ	4~5 8~9 12~13	
				中	5			
				長	7			
18	茎葉の羽状複葉裂片の幅	羽状複葉の頂小葉の幅	測定 (mm)	狭	3	クレム ブリル	3~4 7~8 11~12	
				中	5			
				広	7			
葉色	19	葉の色	成葉表面の地色	観察	黄緑	1		
					淡緑	2		
					緑	3		
					濃緑	4		

重要な形質	No.	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
葉色	20	葉の斑の有無及び程度	葉の斑の有無及び程度	観察	無又は極少 少 中 多 極多	1 3 5 7 9		「中」は地色と斑の面積が同程度
	21	葉の斑の色	葉の斑の色（複数選択も有）	観察	白 黄 淡緑 その他	1 2 3 9		
葉の毛の多少	22	葉の表面の毛の有無及び多少	成葉表面の毛の有無及び多少	観察	無又は極少 少 中 多 極多	1 3 5 7 9	アーリーサンライズ	
	23	葉の裏面の毛の有無及び多少	成葉裏面の毛の有無及び多少	観察	無又は極少 少 中 多 極多	1 3 5 7 9	アーリーサンライズ	
葉柄の長さ	24	根出葉の葉柄の長さ	最大の単葉の葉柄の長さ（羽状複葉の品種も単葉があれば単葉を調査する。）	測定 (cm)	無又は極短 短 中 長 極長	1 3 5 7 9	アーリーサンライズ	5~7 9~11 13~15 17~
花形	25	舌状花の重なり	舌状花の重なり	観察	一重 半八重 八重 丁字咲き	1 2 3 4	アーリーサンライズ	
花の大きさ	26	花の大きさ	花の直径	測定 (mm)	小 中 大	3 5 7	アーリーサンライズ バーデングールド	30~40 50~60 70~80
	27	花の厚み	総ほう部又は花卉最下部から花頂までの厚さ	測定 (mm)	薄 中 厚	3 5 7	カリプソ	5~10 15~20 25~30
	28	管状花部の大きさ	管状花部の直径（露心する品種）	測定 (mm) 図-4	小 中 大	3 5 7	カリプソ	6~8 10~12 14~16
花色	29	舌状花表面の色	最外部の舌状花表面の主な色	測定	RHSカラーチャートの色票番号による			
	30	舌状花の複色の有無	舌状花表面の複色の有無	観察	無 有	1 9		
	31	舌状花の複色模様の種類	舌状花表面の複色模様の種類（複色の品種に限る）	観察	覆輪 先端部複色 基部複色 条 その他	1 2 3 4 9	カリプソ	
	32	舌状花基部の複色模様の型	舌状花基部の複色模様の型（基部複色の品種に限る）	観察 図-8	I型 II型 III型 IV型 V型	1 2 3 4 5		
	33	舌状花の複色の色	舌状花表面の複色の色	測定	RHSカラーチャートの色票番号による			
	34	舌状花裏面の色	最外部舌状花の裏面の色	測定	RHSカラーチャートの色票番号による			
	35	管状花部の色	露心する品種の開花前の管状花部の色（露心する品種に限る）	観察	緑 黄 オレンジ 褐 黒	1 2 3 4 5	アーリーサンライズ	

重要な形質	No.	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花卉の形	36	舌状花先端の切れ込み	最外部舌状花の先端部の切れ込み	観察 図-6	無 浅い切れ込み 深い切れ込み	1 2 3		
	37	舌状花の反り方	最外部舌状花の反り方	観察	内曲 平 外曲	1 2 3		
	38	舌状花の副弁の有無	舌状花の副弁の有無	観察 図-9	無 有	1 9	ブルスイ ブルラパ	
	39	舌状花の長さ	最外部舌状花の長さ	測定 (mm)	短 中 長	3 5 7	アーリーサンライズ バーデンゴールド	15~20 25~30 35~40
	40	舌状花の幅	最外部舌状花の幅	測定 (mm)	狭 中 広	3 5 7	アーリーサンライズ バーデンゴールド	11~13 17~19 23~26
花卉数	41	舌状花数	舌状花の数	測定 (枚)	少 中 多	3 4 7		5~10 15~20 25~30
	42	総ほう外列の大きさ	総ほう外列の直径	測定 (mm) 図-7	小 中 大	3 5 7		10~15 20~25 30~35
がくの大きさ	43	総ほう外列の反り方	開花時の総ほう外列の反り方	観察	内曲 平 外曲	1 2 3	カリプソ	
	44	総ほう内列の大きさ	総ほう内列の直径	測定 (mm) 図-7	小 中 大	3 5 7		10~15 20~25 30~35
やくの色	45	やくの色	やくの色	観察	黄 オレンジ 褐 黒	1 2 3 4	アーリーサンライズ	
	46	花柄の太さ	花柄中央部の太さ	測定 (mm) 図-1	細 中 太	3 5 7	アーリーサンライズ バーデンゴールド	1.0~1.5 2.0~2.5 3.0~3.5
花柄の長さ	47	花柄の長さ	花柄の長さ	測定 (cm) 図-7	短 中 長	3 5 7	アーリーサンライズ バーデンゴールド	9~14 19~24 29~34
花の香り	48	花の香り	花の香りの程度	官能	弱 中 強	3 5 7	アーリーサンライズ バーデンゴールド	
開花期	49	開花の早晩	開花日の早晩	観察	早 中 晩	3 5 7	アーリーサンライズ カリプソ	

(2) 特性審査基準 (案) 参考図

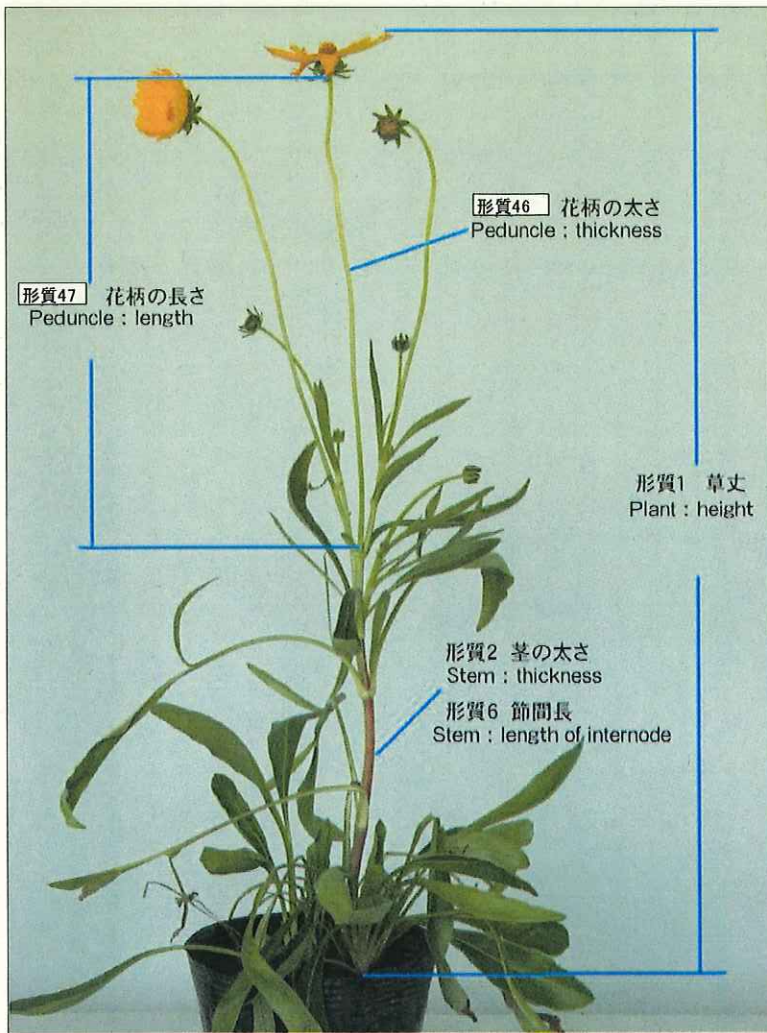


図-1
Fig1

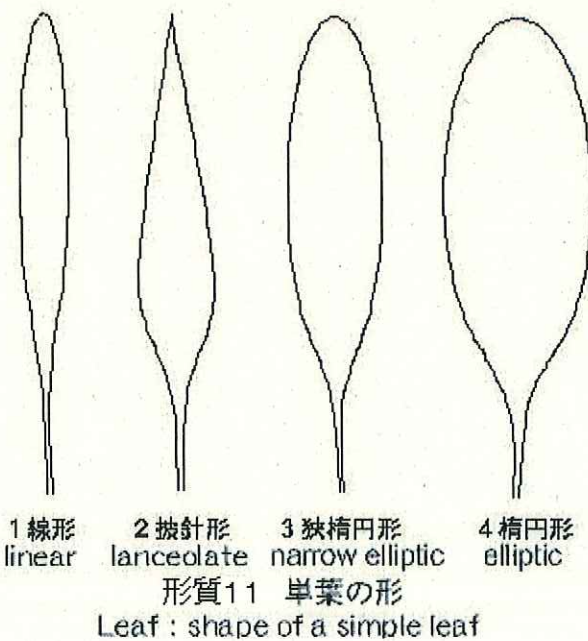


図-2
Fig2

図 - 3
Fig 3

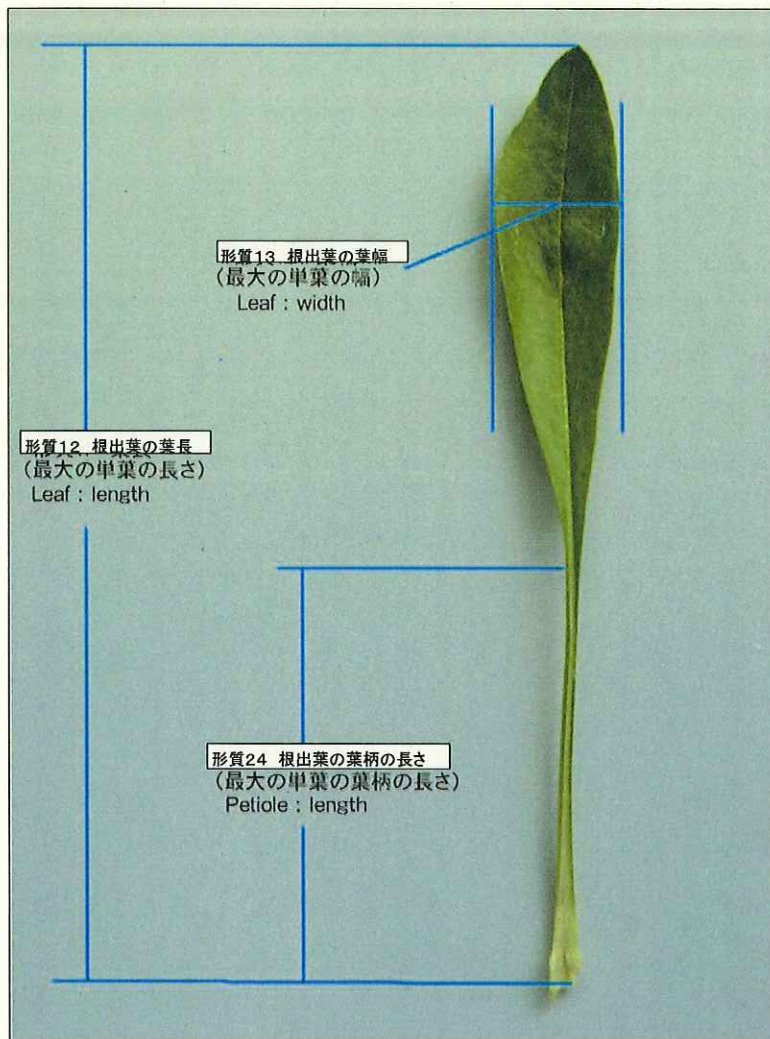


図 - 4
Fig 4

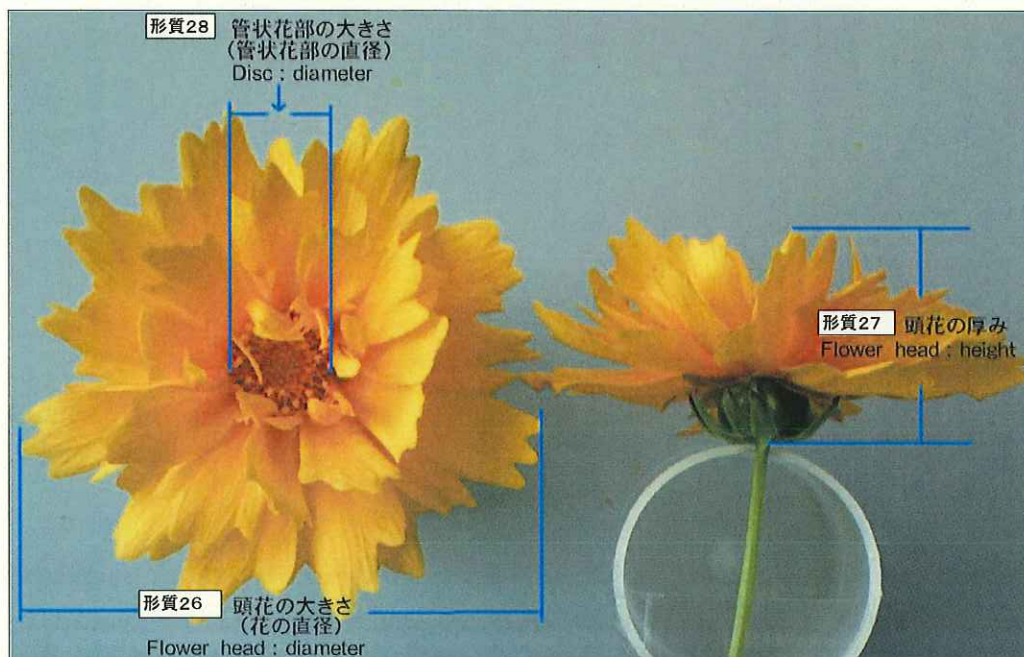




図-5
Fig 5

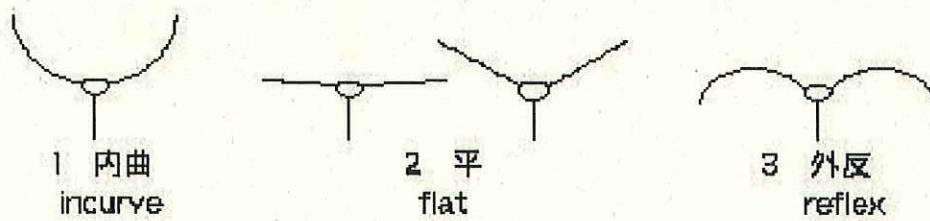


図-6
Fig 6

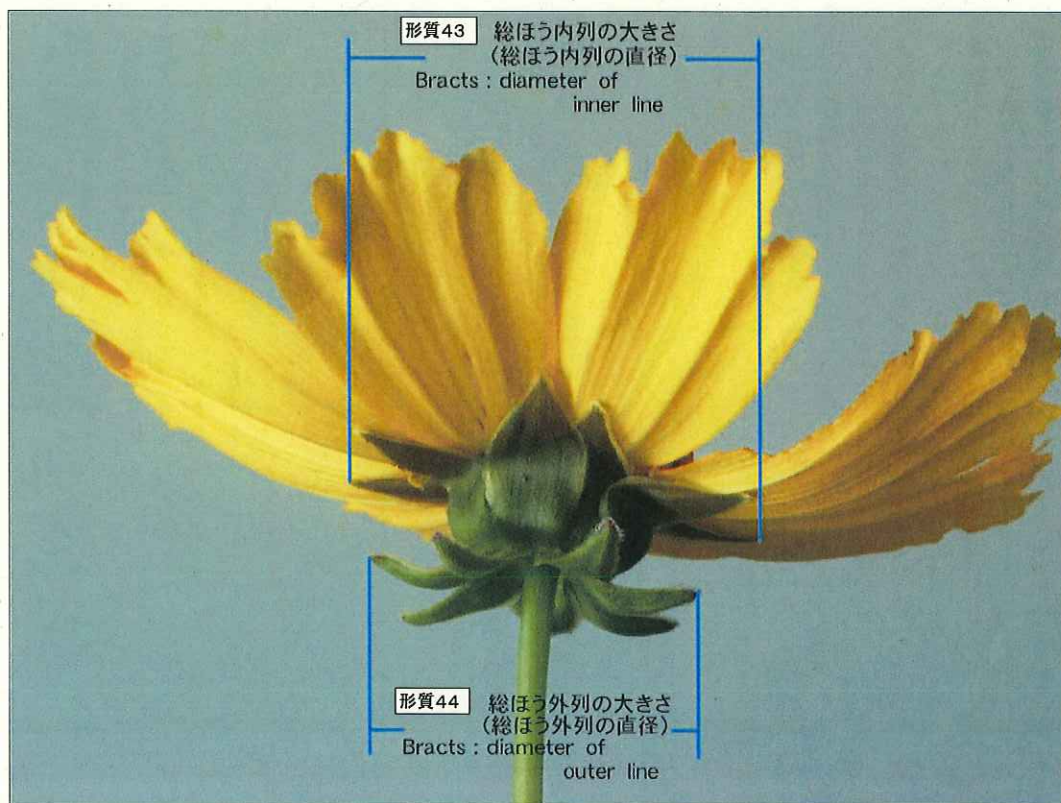


図-7
Fig 7

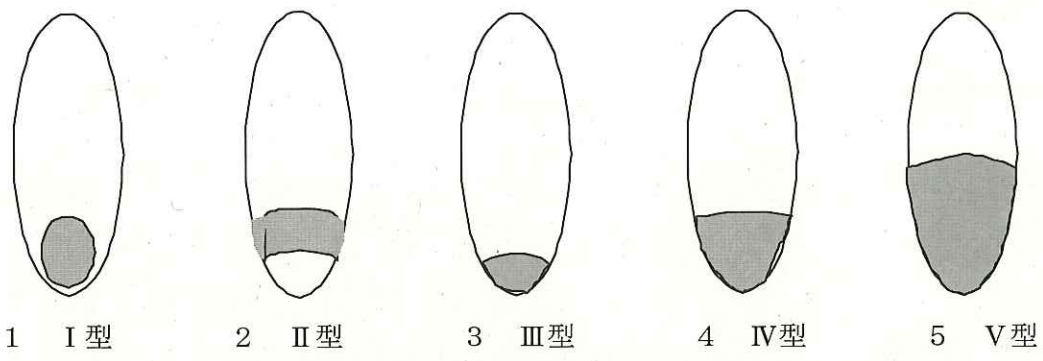


図-8 舌状花基部の複色模様型の型 (形質 No. 3 2)



図-9 舌状花の副弁の有無 (形質 No. 3 8)

4 特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

作型	露地栽培（開花期は雨よけ栽培）
播種	種子繁殖性品種：用土には市販用土を使用し、寒地8月、暖地10月に播種する。（発芽適温20℃）
株分け	栄養繁殖性品種：秋、開花終了後に株分けを行う。
鉢上げ	種子繁殖性品種は本葉3～4枚時、栄養繁殖性品種は株分け苗を3号ポリポットへ鉢上げする。用土には市販用土もしくは畑土にピートモス、パーライト及びバーミキュライトを混合したものを使用。（3号ポリポットのまま越冬）
定植	5月（寒地）、4月（暖地）
施肥	育苗：生育を見ながら液肥（ハイポネックス）を施用する。 本ば：元肥を少なめに施し、生育を見ながら追肥する。

(2) 供試個体数 1区：15株（栄養繁殖性品種）、30株（種子繁殖性品種）×2反復

(3) 調査時期 花の形質は外縁の管状花が2～3列開いた時点に行う。

(4) 栽培上の留意事項

- ・越冬期間中の温度管理は凍結しない程度（3～5℃）とし、水管理も乾燥枯死しない程度とする。
- ・種子繁殖性品種と栄養繁殖性品種が混合する場合は、種子繁殖性品種の生育に合わせて栄養繁殖性品種の株分けを行う。
- ・土質はあまり選ばなく乾燥及び湿気には強いが、日当たりの良い所で、やや湿気のある土質で良く育つ。
- ・耐寒性及び耐暑性は比較的強い。
- ・低温、過湿条件ではうどんこ病が発生しやすいので早期防除に努める。